

平成 28 年度「インターンシップに参加して」

〈保育園〉

保育士という仕事は子どもと遊ぶ以外にもたくさんの仕事があることがこの体験で分かりました。一番大変だったのは、どう子どもを注意すればいいのかです。良くないことは注意しなければいけないけれど、上手に伝えることができない、聞いてくれない子もいたからです。子どもたちがけんかをしてしまった時、止めようとしたけどうまくできなくて、先生が止めてくださり、けんかの止め方を学ぶことができました。この 3 日間とても楽しかったし、たくさんのことを学ぶことができました。このことを将来にいかせるようにしたいです。(Sさん)

私は 3 歳児を担当していたのですが、3 歳児は団体行動より単独行動をして遊ぶことが多かったり、自分がやりたくないことはしないなど、自分がしたいことだけをする年なのだと知りました。その反面、トイレに行った後やごはんを食べる前は必ず手を洗ったり、お昼寝の前や後の着替えは一人でするなど保育園でのルールをしっかり守っていることに感心しました。日常の中で園児たちはけんかをしたり泣いている場面がたくさんあったのですが、そういう時は先生が怒ったり励ますなどその時に応じた対応を瞬時にしていて尊敬しました。(Tさん)

初めての経験でとても緊張していた私を迎えて下さったのは心優しい先生と元気で可愛い子どもたちの笑顔でした。一番に感じたことは「一歩後ろにさがって子どもたちを支える」ことです。着替えをしたり、ご飯を食べる時も、全て手伝うだけでなく、自分で出来ることを自分でやらせようということが確立されていて、そうすることは自立心や積極性を育むことに強くつながっていくのだと感じました。(Oさん)

〈幼稚園〉

私は 3～5 歳の園児と一緒に行動を 4 日間したのですが、思っていたよりみんなしっかりしていて、一人一人自分の意思を持っていて驚きました。先生方から一人の子を抱っこしてはいけない、高いところから抱っこして降ろしてはいけないなどの注意を受け、理由を考えると、なるほど！と理解できることが多く勉強になりました。(Dさん)

2・3 年生参加生徒の声(抜粋) ②

大型絵本を選んだり、お店屋さんを考えたりする時は自分の目線ではなく、子どもの目線になってみたり、普段気を遣わないところまで気を遣ったりとすごく大変でした。絵本はただ読むのではなく、絵を見せるためにゆっくりめくったり、聞き取りやすいように読むなどのアドバイスをもらうことができたので、自分の将来のために忘れないようにしたいと思います。発表当日、緊張で声が震えてしまったりもしましたが、子どもたちの笑顔を見て、楽しく読むことができました。お店屋さんと同じ子が何回も並んでくれたり、自分が折った折り紙に喜んでくれる姿を見て、その日までの疲れもとんでしまいました。(Oさん)

〈小学校〉

私が行ったクラスは個性豊かな子が多く、にぎやかでとても楽しいクラスでした。遊ぶ時はみんなで仲良く遊び、授業の時ははじめをつけて勉強していました。それも先生がしっかりまとめているからだと思います。先生は遊ぶ時は誰よりもクラスを盛り上げ、授業の時は誰よりもはじめをつけて学ぶ姿を児童に見せます。そういった姿が児童に伝わり、児童もはじめがつけられているのだと思います。児童たちは大人の真似をするので自分から正しい行いを見せることが大切だと思いました。(Dさん)

今回のインターンシップでは「学校」を教員の立場から少し見る事ができたと思います。皆が何気なく提出して、当たり前のように返却されるプリント、テストからは一つ一つ提出者チェックをする大変さを身をもって知ることができました。それ以外にも事務仕事があり、夜遅くまで片づけるのに追われる多忙さは私の想像以上です。しかし、教師としてのやりがいはいはたくさんあると思いました。個性あふれる生徒さんに囲まれながら「分かった」につながる授業をする楽しさと、理解してくれた時の嬉しさはきっと大きいでしょう。「先生、これ見て」と国語の時間に作った俳句を見せに来てくれた女の子、「バイトの給料いくら？」と興味を持っていろいろ質問してくれた男の子、本当に無邪気で、一緒にすごしている時間はとても楽しくてあっという間でした。(Sさん)